

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19530297

研究課題名（和文） 信託制度の形成・発展と金融システムにおけるその機能

研究課題名（英文） The Formation and Development of Trust Institutions and Their Function in the Financial System

研究代表者

西山 茂 (NISHIYAMA SHIGERU)

九州国際大学・経済学部・教授

研究者番号：20289565

研究代表者の専門分野：金融機関論、金融制度論

科研費の分科・細目：経済学・財政学・金融論

キーワード：金融論、信託、信託制度、金融制度、金融仲介機能、金融システム、新制度経済学、ゲーム理論

1. 研究計画の概要

本研究課題は金融制度としての信託制度に関する検討である。より具体的には、信託の金融仲介機能に関する研究代表者の従来研究成果を基礎として、信託制度の機能と発展過程について金融制度論の視角から理論的に考察することを意図している。とりわけ信託におけるモラルハザードと信託制度によるその抑止に着目し、これに即して信託制度の形成・発展を捉えるとともに、信託の金融仲介機能に対する信託制度の効果と金融システムにおける信託制度の機能について考察することに重点を置く。

2. 研究の進捗状況

これまでの研究により、信託制度の形成とその意義、信託制度の発展過程とその要因、金融システムにおける信託制度の機能について、概略以下の成果が得られている。その際、本研究課題では、信託の固有な金融仲介機能に対する信託制度の作用に即してこれらの解明を進める方法がとられている。

まず信託制度の形成とその意義については、制度に関する今日の経済学的研究においてもっとも有力な理論的潮流の一つとなっている「新制度経済学」の成果に基づき、信託における典型的なジレンマ・ゲームである利益相反問題に取引費用の概念を適用することによって、これを要因とする信託制度の形成を定式化した。さらに、受動信託、信託財産の統一性、トレーシング、信託財産に係る所有権の分割など、信託制度が有する本質

的な諸規定に即して、信託の固有な金融仲介機能の制度的な保障という観点から金融制度としての信託制度の意義・役割を明らかにしている。

信託制度の発展過程の考察では、利益相反問題によって発生する取引費用、受託単位の設定に基づく金融仲介機能の規律低下を信託制度の発展の契機として析出するとともに、信託制度によるそれらの抑制という観点から、金融仲介機能に対する効果をより効率化する信託制度の構築を「信託制度の最適化」と捉え、信託制度の発展の理論的分析とモデル化を進めた。とりわけ本研究課題のモデルにおいて基本的な変数の一つとなっている信託の固有な経済的便益とその意義が明確にされている。

金融システムにおける金融制度の機能については、信託の金融仲介機能に対する信託制度の効果の解明を基礎として、信託制度が金融システムに包摂されることにより金融構造にどのような作用が生じるかについての考察に着手している。

以上の課題と並行して、理論的フレームワークの深化とモデルの整備・拡充に継続的に取り組んでおり、本研究課題における基本的なモデルとなっているシュタッケルベルク・ゲームの理論的再検討と信託の分析における適用可能性についてさらなる考察を進めている。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。
(理由)

信託制度の形成・発展とその要因、信託の金融仲介機能に対する信託制度の効果、金融システムにおける信託制度の機能など、研究課題として予定していた論点はすべてカバーできている。さらに研究の進展に基づいて新たに把握された論点と適用可能な概念、モデルとしてのそれらの理論的定式化により、当初構想していた以上に考察を深めることができ、また将来的な研究への展開の端緒を見出すことができた。具体的には、信託財産の統一性と金融仲介機能に対するその作用の解明、信託における所有権の構造の把握とそれへの所有プレミアム概念の適用、信託における固有な経済的便益とその意義の明確化などである。

4. 今後の研究の推進方策

本研究課題は本年度が最終年度であるので、これまでの研究成果の総括と将来的な研究の展開を十分に考慮し、以下の三つの課題に重点を置くこととする。

第一に信託の制度的展開についてその金融仲介機能との関連を捉えた理論的検討を進めていく。この課題については信託制度が有する本質的な諸規定とその金融的意義を踏まえた考察にすでに着手しており、本年度も継続して取り組みたい。さらに信託の固有な金融仲介機能の核心をなす受動信託に対して信託制度の諸規定がどのような効果を有するか、また金融仲介機能に内在するジレンマがこれらの諸規定とその作用をどのように規制するかを立ち入って明らかにし、信託の金融仲介機能とその制度的展開を統一的に捉える理論的端緒を探る。

第二に金融制度としての信託制度の発展の考察である。ここでは「信託制度の最適化」の観点から信託制度の発展の理論的分析とモデル化を進めるとともに、モデルにおける信託の経済的便益の定式化について立ち入って検討する。

第三に金融制度論を適用した信託法の理論的分析である。この課題においては金融制度としての信託制度が金融システムにおいて有する機能の解明をさらに深めるとともに、将来的な研究への展開を意図している。当面の課題として、金融の分野における法と経済学に関する学際的研究の観点から、信託法の金融経済的基礎とその金融制度的意義について問題の所在を把握することに努めたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

①西山茂、信託の制度化——金融仲介機能と信託財産の統一性、経営経済論集、第16巻第1号、51-74頁、2009年、査読無。

<http://ci.nii.ac.jp/search?DOCID=40016937533>

②西山茂、新信託法と信託の金融仲介機能、経営経済論集、第15巻第2・3号、49-68頁、2009年、査読無。

<http://ci.nii.ac.jp/search?DOCID=40016670743>

③西山茂、信託の制度理論の構築に向けて——方法的諸問題、経営経済論集、第14巻第1号、155-178頁、2007年、査読無。

<http://ci.nii.ac.jp/search?DOCID=110006946218>

[学会発表] (計2件)

① Nishiyama, Shigeru. The Strategic Propriety of the Prime Lending Rate: An Application of the Price-Setting Game in Banking. Paper Presented at the Pan-Pacific Conference XXVI, Shenzhen, China, 1-3 June 2009.

② Nishiyama, Shigeru. Capital Market Intermediaries in the Light of the Stackelberg Competition: An Analysis of the Institutionalization of Financial Wealth. Paper Presented at the Pan-Pacific Conference XXV, San José, Costa Rica, 2-4 June 2008.

[その他]

①アウトリーチ活動

北九州市立年長者研修大学校講師(2008年度、2009年度)。

②ホームページ

<http://www.kiu.ac.jp/about/academiccpu rsuits/img/kagakuhojyokin.pdf>